

平成 16 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 スカイマークエアラインズ株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 西久保 慎一  
(コード番号 9204 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役経理本部長 今井 仁  
(TEL 03-5402-6767 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 15 年 12 月 18 日に公表した平成 16 年 10 月期(平成 15 年 11 月 1 日～平成 16 年 10 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 業績予想

(1)中間期(平成 15 年 11 月 1 日～平成 16 年 4 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 15 年 12 月 18 日)	15,100	670	690
今 回 修 正 予 想 (B)	15,303	12	55
増 減 額 ( B - A )	203	658	635
増 減 率	1.3%	-%	-%

(ご参考) 前 期 実 績 (平成 15 年 4 月 期)	8,762	1,065	1,268
----------------------------------	-------	-------	-------

(2)通期(平成 15 年 11 月 1 日～平成 16 年 10 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 15 年 12 月 18 日)	32,900	1,000	980
今 回 修 正 予 想 (B)	32,500	1,230	1,130
増 減 額 ( B - A )	400	230	150
増 減 率	1.2%	23.0%	15.3%

(ご参考) 前 期 実 績 (平成 15 年 10 月 期)	22,554	576	794
-----------------------------------	--------	-----	-----

## 2. 修正理由

当中間期におきましては、航空機5機による3路線体制（「東京＝福岡線」9往復、「東京＝鹿児島線」4往復、「東京＝徳島線」4往復）の安定的運航の維持、各路線におけるダイヤ品質の競争力強化等、利用者利便の向上により、国内線旅客収入は堅調に推移しました。国際線については、市場ニーズに合わせた弾力的な運航により、収益に貢献しました。貨物運送については、各路線での積極的な営業展開により大幅な増収となりました。また、継続して推進しております費用削減の努力と路線集約効果により大幅に事業費の圧縮を実現できました。

その結果、前回発表しました中間期業績予想を事業収益153億300万円（2億300万円の増加）、経常損失1,200万円（6億5,800万円の改善）、当期純損失5,500万円（6億3,500万円の改善）にそれぞれ上方修正をすることとしました。

下半期におきましては、全路線において機内サービスの一層の強化等、お客様本位の商品をご提供するとともに、さらなる改善策を実施する所存であります。航空機材の導入スケジュールの変更により一部の路線で計画運休を実施する見込みであります。また、昨今の原油情勢の影響等を勘案し、事業費等の見直しをしました。

これらにより、通期業績予想を事業収益325億円（4億円の減少）、経常利益12億3,000万円（2億3,000万円の改善）、当期純利益11億3,000万円（1億5,000万円の改善）にそれぞれ修正をすることとしました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上